



愛川ふれあいの村2月の風景

平成24年 2月 自然のたより

春のたよりがいたるところに見え隠れする季節となりましたが、寒さが続き、吹く風が頬に当たると冷たく、雪が降る日もありました。しかし、春らしい日も訪れて来ています。だんだんと日が長くなり、暖かい光に誘われ小さな花たちが、ほころんできています。

<2月の自然のエピソード>

暖かい日が続くと思えば、雪が降り村の中は冬に逆戻りしました。雪の中からはフキノトウが顔をだし、寒さにまけずに生命の営みを見せてくれます。オオイヌノフグリやヒメオドリコソウ、ホトケノザなどの春植物が花をさかせ始めました。小さな花ですが日だまりの広場をよく観察すると見るができます。



カマキリの卵



アオサギ



水辺に現れたキジ



アブラナ



オオイヌノフグリ



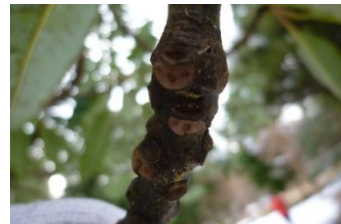
セダツの実を食べるヒトリ



ウスタビガの繭



ダイサギ



ユズリハの葉痕



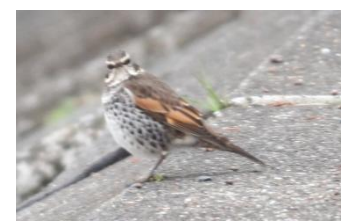
ジャゴケ



ホオズキ



ウシハコベ



こちらを見ているツグミ



ヤノウエノアカゴケ

写真撮影・編集：吉田、葉